

検査情報月報10月号 ▶ 概要版 ◀



▶ 横浜市衛生研究所では、所内で実施した試験検査などの結果に解説を加えて、検査情報月報を発行しています。



2025年10月発行

夏期食品収去検査結果（令和7年度）

▶ 夏期食品等一斉点検は、厚生労働省の通知に基づき、夏期に多発する食中毒等食品による事故防止と食品衛生の確保を目的に全国一斉に実施されるものです。横浜市においても令和7年6月1日から8月31日までを重点監視期間と定め、一斉点検を行いました。

主な結果 ▶ 食品添加物検査 菓子類、清涼飲料水、野菜類・果実及びその加工品等の食品153検体（輸入品115検体、国産品38検体）について、保存料、着色料、甘味料など3,032項目の検査を実施しました。市内で製造された菓子から、**原材料に着色料の表示がない検体から着色料が検出**されました。収去担当部門で製造者の調査を行っています。また、**原材料由来と思われる保存料を検出した検体や製造過程で消失したと思われ、酸化防止剤使用の表示が記載されているが検査で不検出となった検体等11検体**については、収去担当部門が輸入者等を所管する自治体に調査を依頼しています。

▶ **細菌検査** 細菌検査の内訳は、魚介類9検体、冷凍食品4検体、肉卵類及びその加工品3検体、乳製品2検体、アイスクリーム類3検体、清涼飲料水15検体、計36検体49項目でした。検査の結果、**加熱食肉製品(加熱後包装)1検体、アイスクリーム1検体が規格基準違反**となりました。

農産物の残留農薬検査結果(令和7年7月～8月)

▶ 食品中に残留する農薬等が、人の健康に害を及ぼすことのないよう、消費者庁は農薬等について残留基準を設定しています。当所では、横浜市内に流通する農産物に残留する農薬の検査を行っています。

主な結果 ▶ 市内産農産物 7月にばれいしょ8検体、にんじん7検体、きゅうり及びなす各4検体、えだまめ、すいか及びピーマン各1検体の計26検体、8月になす5検体、かんしょ、きゅうり、こまつな、とうがん、にんじん及びばれいしょ各1検体の計11検体、合計で37検体の検査を行いました。

▶ これら合計37検体の検査を行った結果、きゅうり2検体、こまつな、なす及びばれいしょ各1検体から延べ6項目の農薬が検出されましたが、**基準値を超えるものはありません**でした。

横浜市衛生研究所の公式Instagram、始めました。

▶ 横浜市衛生研究所では令和7年7月16日から**Instagramによる情報発信**を開始しました。地域の感染症情報を取り扱う施設であり、また、生活に直結した各種試験検査、調査研究を行う施設として、**市民生活に役立つ情報**を発信しています。

https://www.instagram.com/eiken_yokohama_official



フォローお願いします！